

## 第 17 回 株式会社エフエム真岡 放送番組審議会議事録

### 1 開催概要

審議委員及び事務局が真岡市市制 70 周年記念式典等、各種イベント等の対応のため書類による審議を実施。令和 6 年 9 月 25 日(水)に審議資料を配布、令和 6 年 10 月 8 日(火)までに番組に対する意見等について返信を求めた結果、審議委員全 5 名から電子メールまたは FAX にて回答があった。

#### ■出席委員(敬称略)

加 藤 敦 美 (真岡商工会議所 専務理事)  
市 村 有 史 (真岡市 総合政策部 秘書広報課 係長)  
篠 崎 勝 美 (株式会社シノザキ楽器 代表取締役)  
宇賀神 久 子 (株式会社アキヤマ観光 取締役)  
上 澤 宏 行 (鶴見建設株式会社 代表取締役)

### 2 議題

放送番組の審議

### 3 審議内容

#### ① 審議番組『イブニング!もおか 5:00』

放送日時: 令和 6 年 8 月 20 日(火) 17:00~17:45

「令和 6 年度『真岡市子ども議会』参加者の皆さん 11 名」出演  
・FM おおか/パーソナリティ: 大山 ひとみ

(委 員) 今回の子ども議会は、小学生が対象であったので番組の進行は児童一人一人へのインタビュー方式でよかったと思う。来年度は、中学生が対象となるので、生徒同士による意見交換の場も設けてはどうか。また、真岡市の将来を担う子供たちの率直な意見や思いを引き出してほしい。例えば、「どんなことをすれば真岡市がもっと元気なまちになりますか?」「真岡市にどんな施設ができれば楽しいですか?」「進学等で真岡市を離れた人を呼び戻すには何が必要ですか?」など。

(委 員) パーソナリティの大山さんの明るくあたたかい空気感で、その場が和んで子供たちも話しやすかったと思います。子どもたちも地域ならではの要望があり、内容的に興味を感じました。とにかく、大山さんの明るさがいいですね。お母様だと思いますが子どもの心を開くのが上手いですね。時間や声、内容ともとても良かったと思います。

(委 員) パーソナリティの大山さんが、子どもたちに気を使いながら、うまく話を振って番組を成立させていたと思います。質問内容も子どもたちが答えやすいような配慮があり、議会・ラジオと緊張していたであろう子どもたちもハキハキ答えていて好感が持てました。音質もクリアでパーソナリティと子どもたちの差もなく聴きやすかったです。BGMとのバランスも良いと思います。私見にはなりますが、行政情報と防災の役割以外は、市民の方などがどんどん出演し「あの人が出演しているから聞こう」と思ってもらえる、加えて、聞いていて楽しいエンターテイメントであって良いと思

ます。気になった点としては、保護者が急遽出演することになった経緯が分からなかったのが、違和感がありました。他の回でも保護者は観覧されていたのでしょから、公平性の点でも少し疑問です。

(委員) 好感が持てたポイントとして、「子ども議員」は、町を考えるきっかけになる面白い取り組みで、そこを取り上げるのはとてもいいことだと思います。意見もストレートで素直な感じが見受けられたので、小学生ならではの「組織の団結感」が得られたのではないのでしょうか。パーソナリティの子どもの会話の引き出し方は、大山さんのベテラン感だからこそその「聞き心地のいい番組」ができたのかもしれないですね。また、好きな給食や好きなこと、今、興味のあることを聞くあたりは、子どもたちに「なごみ」を与える時間だったと感じました。要望としまして、今回出演した子どもたちはハキハキ喋れる子どもたちが多いと思いましたが、中には恥ずかしくてモゴモゴと喋って聞き取りにくい子もいるのかと思います。今回のように、子どもたちが自慢げに喋れる内容を引き出すことは、重要だと思いますので、今後も継続して頂ければと思います。とても良い番組でした。

(委員) 同時に出演者が4人というのは多く、それを15分ずつ3組回していくのはちょっと忙しいような気がしました。より多くの子ども議会参加者に番組に出演してもらいたいのだろうが、不公平感はあるとも人数はもう少し絞ってもいいと思う。また、子どもたちの緊張を和らげる意図があるかもしれないが、本人の趣味や好きな給食などといった議会との関係のない話題は不要（それなら必ずしも子ども議会に参加した小学生である必要が無い）ではないだろうか。番組としてはやや堅めの雰囲気になるかもしれないが、なぜ、議会でその質問をしたのか、他に市に対する要望や考え方があるのかの掘り下げたり、その質問に関連する話題をするべきではないかと思います。（例えば、本人が議会で学校の給食について質問をしていたとしても、単に好きな献立を聞くのではなく、給食のどういう部分を問題だと思っているのかを深堀する方が良い）ただし、各小学校の紹介については、議会の質問に関係ない話題ではあるがコミュニティFMの特性を考えると良いかと思えます。子ども議会に呼ばれるような子でも、小学生の語彙力だと議会の感想をラジオの生放送で上手く伝えるのはちょっと難しいと感じました（緊張もあるだろうし、パーソナリティの方は上手く進行していたと思いますが）。親子で出演して保護者からのフォローを受けながら話すのもいいと思います。また、保護者の視点での感想ももっと聞きたい（同じ子ども議会でもさすがに中学生の場合、保護者は不要だろうが）。より多くの議会参加者の声を届けたいのであれば、議会終了後から生放送の間に他の参加者に30秒～1分程度の短めのインタビューを何人が録音しておき、スタジオ転換時に音楽の代わりに流すのも良いのではないのでしょうか？

## ② 放送番組審議会の次回開催について

(事務局) 次回の審議会は、令和7年1月14日（火）、13：30～

場所は、エフエム真岡会議室か市役所の会議室をお借りして開催予定。

(委員) 審議委員全員に書面にて連絡済。

## 4 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① FMもおかの放送内で告知（令和6年10月11日）
- ② 当該事項を記載した書面を事務所へ据置
- ③ 自社ホームページに掲載（<https://www.fm-moka874.co.jp/>）